

社) 医学生物学電子顕微鏡技術学会

2022 (令和4) 年度 研究プロジェクト助成の公募

本学会の特色をテーマに掲げて「研究プロジェクト」を募集し、支援する事業をおこなっております。下記の通り募集いたします。

社) 医学生物学電子顕微鏡技術学会

理事長 根本 典子

技術普及委員会副委員長 田村 友樹

募 集 要 項

募集趣旨

平成16年度に初回の「研究プロジェクト助成募集・ウランに代わる電子染色技術開発プロジェクト」を募集開始してから、今年で18年目を迎えます。

その間、時代の流れとともに、「ウラン代替え染色剤の検討」、「迅速な電子顕微鏡試料作製法」、「高分子蛋白の電子顕微鏡による可視化」、「化学固定法の見直しと四酸化オスミウムに替わる化学固定剤の検討」、「デジタル TEM のための試料作製法と観察法」などのテーマで募集を行い、成果を学術講演会ならびに学会誌で報告してまいりました。

しかしながら、近年の公募では、応募数がゼロの年度もあり、会員の皆様にとって、あまり身近でなく、興味が持てないテーマもあったかと推測します。

本学会の会員構成は、様々な分野、様々な職種・職位で幅広い領域の皆様、かつ、近年、分子遺伝学研究や様々な解析方法、研究方法があることから、電子顕微鏡を利用せずとも求める情報が得られる時代であることも事実です。このような背景で、電子顕微鏡を中核に、多岐に亘る分野の皆様が共通で興味があるテーマを設定するのは、中々難しく、今回は着眼を一新することと致しました。SDGs がニュース等で話題となっておりますが、“昨今、話題となる題材と超微形態研究との関わり”、と、本学会の活動理念の一つである“技術継承と社会貢献活動”に関する選択課題を設定しました。

選択課題4件とし、近年、ニュース等で、腸内細菌と肥満、歯周病菌と全身疾患などが話題となっておりますが(Ⅰ) マイクロバイーム(微小生物の集まり)解析との関係、また、2000年頃から「循環型社会」の維持継続と言う事で、バイオミメティクスが脚光を浴び、ヤマモリテープや省燃費型船底防汚塗料、蛇型ロボットなど、既に製品化された物も数多く、環境に優しい研究開発(Ⅱ) バイオミメティクスとの関係、更に、バイオミメティクスから進化した「ネイチャー・テクノロジー」完全形循環社会として(Ⅲ) ネイチャーテクノロジーとの関係、と言う3本立、これに加え、本学会の活動理念の一つである(Ⅳ) 技術の継承と社会貢献関連に関連する研究、合計4件の選択課題を設定しました。

これらの選択課題を会員の皆様が、自由な発想で超微形態構造解析と関連づけてご研究頂き、是非とも本プロジェクトにご応募頂けますようお願いしております。